

労災事故防止年間重点計画（2025年度）	年間抑止重点	○ 不安全作業や不安全行動による労災事故防止 ○ 適切な荷役器具の取扱い、ヘルメット着用等による頭部保護 ○ 通勤災害事故撲滅
----------------------	--------	---

月	年間実施重点	具体的推進事項・着眼点	強化月間	安全衛生
4	荷扱い時の事故防止	○ 荷扱い時における基本ルールと作業開始前の安全確認を実践させる。	荷扱い中事故 防止強化月間	若年層を対象とした体力作り方策 若年層社員の社会人として活躍できる体力作りの実施
5	荷扱い時の事故防止(安全作業の確認)	○ 作業器具の安全な取扱いをするための個々具体的指導の実施 ○ 作業現場の整理整頓と安全な作業環境を保持させる。	同 上	若年層を対象とした基本ルールの徹底 不安全行動をチェックして、安全行動への指導を実施
6	フォークリフトによる事故防止	○ フォークリフト取扱い責任者及び有資格運転者名の室内表示を確認する。 ○ 構内運転速度及びヘルメットの正しい着用を指導する。	フォークリフト事故 防止強化月間	生活習慣病の予防と食中毒予防対策 帰省時の手洗い・うがいの励行 ノロウイルスの流行など、地域の情報に耳を傾けること。
7	フォークリフトによる事故防止	○ 急発進、急旋回、急停止は横転、商品事故の発生要因となることを指導する。 □ ホーム・荷台からの飛び降り等、危険行為の撲滅。	同 上	熱中症予防対策と夏季における健康管理 十分な水分及び塩分補給を行い、熱中症を予防する。 夏本番に向けた自主健康管理の徹底
8	荷扱い時の事故防止(安全作業の確認)	○ 作業開始前に現場の安全を確認した後、作業に従事するよう指導する。 ○ 店所安対でのヒヤリ・ハット、他店での発生事例を「他山の石」として指導する。	荷扱い中事故 防止強化月間	熱中症予防対策と夏季における健康管理 睡眠時間は十分に確保すること。 十分な水分及び塩分補給を行い、熱中症対策を徹底する。
9	飛び降り、転倒事故防止	○ 荷台、又はホームから降りる際の飛び降り禁止を徹底する。 ○ 雨降り等で階段やステップが滑りやすい時の注意指導を徹底する。	不安全行動 防止強化月間	健康診断結果を基に健康指導を行う。 健康診断による成人病などの定期的な治療や薬の服用等を確認する。 残暑による体調不良に気をくばり自己健康管理を呼び掛ける。
10	構内巡回点検及び環境整備	○ 定期的な構内巡回点検の実施と安全な作業環境を確保する。 ○ 通行区分線、規制線等の整備とホーム及び資材置き場等の環境を整備する。	健康強調月間	健康診断結果を基に健康指導を行う。 健康強化月間として、健康管理による安全な運行を確保する。 成人病等の定期的な治療や薬の服用等を継続的に確認する。
11	荷扱い時の事故防止(安全作業の確認)	○ 荷扱い時における基本ルールと作業開始前の安全確認を実践させる。 ○ 「はさまれ」「巻き込み」「転落」等の事故防止意識を徹底させる。	荷扱い中事故 防止強化月間	新型インフルエンザ、風邪の予防対策 帰宅時のうがい、手洗いの励行 予防としてのマスク着用、咳がでる時の拡散防止のマスク着用
12	荷扱い時の事故防止(安全作業の確認)	○ 巡回点検時における不安全行動者に対する指導を実施する。 ○ 作業現場の整理整頓と安全な作業環境の保持に努める。	同 上	年末繁忙期に耐える強靱な体力作り方策 規則正しい生活のリズムを守り、体力作りの励行 朝夕の冷え込みに注意して風邪などの予防を実施
1	飛び降り、転落事故防止	○ 車両から降車、ホームから降りる際の基本ルールを厳守する。 ○ 不安全な状態で作業を実施させない。	不安全行動 防止強化月間	新型インフルエンザ、風邪の予防対策 帰宅時のうがい、手洗いの励行、マスクの着用による感染拡大防止
2	フォークリフトによる事故防止	○ 構内運転速度及びヘルメットの正しい着用を指導する。 ○ 急発進、急旋回、急停止は横転、荷物事故の発生要因となることを指導する。	フォークリフト事故 防止強化月間	新型インフルエンザ、風邪の予防対策 帰宅時のうがい、手洗いの励行と感染時には無理をせず休養をとること。
3	フォークリフトによる事故防止	○ リフトは安全な場所に駐車させてから降りること。 ○ 指定された通路を走行し、公道での走行は絶対しないこと。	同 上	生活習慣病の予防対策(BMI対策) 生活習慣病予防のため、継続した運動を実施する。 バランスのとれた食事を摂取し、エネルギーの過剰摂取に注意する。